

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学実習 (理学療法学科中心)		必修 (理) 選択 (福)	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
大塚 篤也 他	D320	a.otsuka	水曜日 15:00-16:00		
授業の目的・概要	臨床現場において患者の運動障害を分析するための基礎となる、生体の仕組みを理解することを目的とする。運動学に係る実習を行い、得られたデータを分析し、論理的思考を身につけるとともに、実験レポートの作成方法を習得する。				
学習上の助言	講義では、臨床現場で使用する様々な機器を実際に使用し、測定を行う。得られたデータを目的、方法、結果、考察に分けてレポートにする。運動学 I・II で学習した内容を復習しておくことが望ましい。				
教科書	動作分析 臨床活用講座—バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践。石井慎一郎。メジカルビュー社。2013				
参考書	基礎運動学 第 6 版補訂 著 中村隆一 他 医歯薬出版 2012				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	生体の運動学的・生理学的反応に関する知識を深め、説明できる。			HSU(2), PT(3)	
②	実習を通じて運動学的計測手法について理解する。			HSU(2), PT(3)	
③	実習結果を運動学的に分析し、身体運動・動作の特徴や仕組みを理解する。			HSU(2), PT(3), (6)	
④	実習結果をレポートにまとめることができる。			HSU(2), (5), PT(2), (5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	運動学実習の総論について学ぶ。 [担当; 大塚]	講義	配布プリントを復習する。	1	
2	運動学実習の総論について学ぶ。 [担当; 大塚]	講義	配布プリントを復習する。	1	
3	座位、立位姿勢を観察し、姿勢のアライメントを理解する。 [担当; 大塚]	実習、講義	配布プリントを復習する。	1	
4	座位、立位姿勢を観察し、姿勢のアライメントを理解する。 [担当; 大塚]	実習、講義	配布プリントを復習する。	1	
5	起居動作を観察し、姿勢、関節運動を理解する。 [担当; 大塚]	実習、講義	教科書(pp.30~49, pp.82~97)を読み、起居動作について予習する。	1	
6	起居動作を観察し、姿勢、関節運動を理解する。 [担当; 大塚]	実習、講義	教科書(pp.30~49, pp.82~97)を読み、起居動作について予習する。	1	
7	異なる条件での立ち上がり動作を観察し、動作の違いを考察する。 [担当; 大塚]	実習、講義	教科書(pp.122~137)を読み、起居動作について予習する。	1	
8	異なる条件での立ち上がり動作を観察し、動作の違いを考察する。 [担当; 大塚]	実習、講義	教科書(pp.122~137)を読み、起居動作について予習する。	1	
9	歩行観察から歩行周期を算出し、正常歩行を理解する。 [担当; 大塚]	実習、講義	教科書(pp.168~178)を読み、歩行周期について予習する。	1	
10	歩行観察から歩行周期を算出し、正常歩行を理解する。 [担当; 大塚]	実習、講義	教科書(pp.168~178)を読み、歩行周期について予習する。	1	
11	歩行観察から歩行時の関節運動を学習する。 [担当; 大塚]	実習、講義	教科書(pp.179~190)を読み、歩行動作について予習する。	1	
12	歩行観察から歩行時の関節運動を学習する。 [担当; 大塚]	実習、講義	教科書(pp.179~190)を読み、歩行動作について予習する。	1	

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)				
13	歩行における距離因子と時間因子を学習する。 [担当；大塚]	実習、講義	教科書(pp.191～202)を読み、歩行について予習する。 1				
14	歩行における距離因子と時間因子を学習する。 [担当；大塚]	実習、講義	教科書(pp.191～202)を読み、歩行について予習する。 1				
15	重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；駒形]	実習、講義	参考書(pp. 364～368)を読み、姿勢について予習する。 1				
16	重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；駒形]	実習、講義	参考書(pp. 364～368)を読み、姿勢について予習する。 1				
17	呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；大塚]	実習、講義	参考書(pp. 167～176)を読み、呼吸について予習する 1				
18	呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；大塚]	実習、講義	参考書(pp. 167～176)を読み、呼吸について予習する 1				
19	筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；遠藤]	実習、講義	参考書(pp.72～87)を読み、骨格筋について予習する。 1				
20	筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；遠藤]	実習、講義	参考書(pp.72～87)を読み、骨格筋について予習する。 1				
21	筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；大塚]	実習、講義	参考書(pp. 22～30)を読み、筋の活動張力について予習する 1				
22	筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；大塚]	実習、講義	参考書(pp. 22～30)を読み、筋の活動張力について予習する 1				
23	総括 (レポートの内容について解説する) [担当；大塚]	実習、講義	1				
試	レポート課題等						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	30	0	0	70	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	20	30
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	20	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポート(30%)により判定する。 レポートの内容は、測定結果を基に目的、方法、結果、考察に分けて論述する。レポートの評価基準表を講義内で配布する。			レポートを返却し、授業時に解説する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	✓	各講義でリアクションペーパー(20%)や課題(50%)の提出を求め、その内容を採点し、評価する。課題は、使用する機器に関連する問題や運動学に関する問題を出題し、理解度を問う。
	②	✓	
	③	✓	
	④	✓	
	⑤		
	⑥		

備 考

担当教員：担当教員：

◎大塚 篤也、遠藤 悠介、駒形 純也、関根 聡美

教員の実務経験：

大塚 理学療法士（総合病院、整形外科クリニックでの勤務経験）

遠藤 理学療法士（大学病院、整形外科クリニック、介護老人保健施設、スポーツ現場での勤務経験）

駒形 理学療法士（クリニックや介護保険領域を中心に勤務）

関根 理学療法士（急性期等での勤務経験）

実践的授業の内容：

運動器疾患などにおいてみられる典型的な動作を提示し、障害別の動作や運動の理解を促す。

実技授業：

場所は D 棟 2F 実習評価室 D で行う。

測定がしやすい服装で受講し、PC を持参すること。

授業時のフィードバック、意見交換：

フィードバックは授業時間内または課題返却で実施する。

意見交換の機会は授業時間内に実施する。

感染対策：

大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。

なお、シラバスの内容は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況と授業の進行状況等を考慮して一部修正することがある